

# 岩手県紫波町 Web3 タウン表明

多くの自治体があの手この手で取り組んでいる地域の活性化。  
紫波町も例外ではありません。

地域活性化に欠かせないことの1つに、多様な人材が挙げられます。  
多様な人材が集まることで化学反応が起こり、これまでになかったアイデアや新しい価値が生まれ、そこから地域経済の盛り上がりや各種サービスの充実等が期待できます。

そこで当町は、国内のみならず、海外も含めた多様な人材にまちづくりへの参加を可能にする、最先端のデジタル技術「Web3」を積極的に活用し、新しい方法での人との対話や価値の創出に取り組むと考えています。

Web3の技術を活用して、国内外どこからでもまちづくりに参加できる「DAO（ダオ）」と呼ばれる分散型自立組織を設立します。

DAOを通して、当町のビジョンや取組みに共感し、豊かな地域資源に愛着を持ってくれる多様な人材が地域を超えて結び付き、地域課題の解決や持続可能なまちづくりへの可能性がさらに広がることを期待しています。

デジタル分野における次世代の領域として注目を集める「Web3」。

当町は新しい知見を積極的に取り入れ、「Web3タウン」の取組みを推進することを、ここに表明します。

2022年6月10日

紫波町長 熊谷 泉

## Web3 タウンで目指すもの（プロジェクト例）

1. 地域課題の解決を目指すDAOを設立
2. Web3技術を活用した新型地域通貨の発行に向けた活動
3. ふるさと納税の返礼としたデジタルアートのNFT化
4. Web3技術の推進に取り組む企業の誘致